京都教区時報

第116号
田中司教認可
毎月1日発行

発行　京都司教区　発行責任者　村上透磨
編集　京都カトリック教理センター　住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入　Tel 761-9095

特集　本から学ぼう福音宣教

アフリカ

ブルキナファソからの喜びのたより

京都・奈良

ウォーカソン

私たちの心が 井戸になった!!

おぼえていますか？水不足で苦しむブルキナファソの兄弟のために歩いた2年前の秋。みんなの汗と心を集めて、ようやく井戸が完成しました。

（3ページ下段にアフリカの枢機卿様からの手紙を掲載）

昨年の7月、総額 970万円のお金が、マリアの宣教者フランシスコ会を通じて現地へ届けられた。井戸は修練院の庭に掘られ、人々の生活を潤している。

'87ナイス（福音宣教推進全国会議）主旨説明会報告

福音の具体化を信徒と共に探ろう

於 東京 7月6日

7月6日の東京での説明会は、実行委事務局の相馬司教様による基調講演並びに神林、岩橋両師によるこれまでの経過及び今後の予定の説明が柱となったものでした。

紙面の関係上、内在する問題点も含めた詳細を報告できませんが、以下、簡単に神林師からの説明を報告させていただきます。

ナイスとはそもそも、司教様方の従来の位階的（教皇を頂点とするピラミッド型）な司牧行政的立場の見直しに端を発する動きであると性格づけられるようです。「司教＝教会」的理解に基づいて、それぞれの司教様の御膝下さえ安泰であればよかった時代から、第二バチカン公会議以後の現代の教会として、「日本の教会」という視野を持ち、「福音の具体化」の方途を信徒と共に探ろうという時代を迎えたという訳です。

今後の動きとしては全国四ケ所で開催された「公聴会」に出された信徒の声を可能な限り網羅した「生資料」を各教区に持ち帰り、それに各教区の現状を加味して、全体的視野を保ちながら、「現在の日本の教会が抱える問題、その解決」といった形で課題とすることが要求されています。

京都教区内での課題化は、10月15日までに「生資料」のダイジェスト版を参考にしつつ、各ブロック、組織ごとに行い、教区準備委員会でまとめ、11月上旬には選定する予定です。

しかし、これら課題化の処理日程ひとつにせよ実行委事務局の要求が若干中央的発想である点など司教様方の「自ら変えられよう」となさる御姿勢との食い違いが目につき、残念な所もあります。

基調講演で相馬司教は「ナイスに向けて共同体づくりのプロセス」を強調された。とすれば私たちに必要なのは「もっともらしく」まとめるより、教会自らの現実を凝視し、その中から出される課題を前に「変えられる」勇気と柔軟性を持つことなのではないかと思われてなりません。

文責　北村晴美

司教の足どり

8月

1日　京都府高官表敬訪問
2日　京都太陽の園理事会
3日(日)　ヴィッテンゲル師とミサ（西院）。宗教サミット準備会
5日　広島巡礼。供養塔→平和行進→カテドラル・ミサ
6日　被爆日。碑めぐり
7日　教区中学生50名無事帰還。葉上大阿闍梨を見舞う　ロイヤル新社長ら来訪。ブルゴス会管区長来訪　「祈りとコンサートの夕べ」於聖母女学院短大
8日　平和旬間教区一斉ミサ。平和講演会。平和行進
9日　JOC事務局長来訪。天台宗務庁代表来訪。ローマと電連
10日(日)　MM管区長・V師と面談。諸宗教各教団と連絡。S教会信徒代表と面談（S学園組合団交）
11日　墓参。村上透一氏見舞。古屋
12日　司教訪問　聖母被昇天祭。大谷崩万灯会見学
13日　相馬司教見舞　諸宗教関係で繁忙
14日　K教会問題で面談　右問題エスカレート
15日　右問題について有志来訪　宗教サミット準備会（東京）
16日　右報告書を関係者に郵送
18日　教区神学生合宿陣中訪問ミサ（甲賀）地元信徒と懇談
18日　(社)京都カリタス会理事会
19日　上田師訪問。墓参。女子カルメル会を上田師と訪問。S教会問題。学連代表と面談
20日　NCC研究所長と電連。比叡山宗教サミットの受皿発合式
22日
23日
24日(日)
25日
27日
28日
29日
30日　ミロハナ師・聖母の騎士代表来訪。千客万来
31日(日)　河原町ミサ。聖ライムンド祝日。S教会信徒代表と面談

笑がお よこ顔

―東京でのFABC（アジア司教協連盟）について、お聞かせ下さい。

「今回出席されたのは、バングラディッシュ、ビルマ、ホンコン、インド、インドネシア、日本、韓国、ラオス、カンボジア、マカオ、マレーシア、シンガポール、ボルネオ、フィリピン、台湾、スリランカ、タイの14の司教団と2つの教区からです。彼等は、日本の企業や商品については知りぬいていますが、日本に来たことはない。本当の日本を知ってもらうためにも、東京が開催地になったのは、大きな意味がありました。又彼等が日本のことを知らないのと同時に私達も彼等の国のことをどの程度知っているでしょうか。」

「今までは司教の集りでしたが、今回約60名の信徒代表が出席しました。司教はしゃべりすぎなんです。私みたいにしゃべるのがはずかしい者までしゃべるわけで…。」

大阪管区　司祭研修会

Prieste' Incentive for Promoting Evangelization
（福音宣教推進全国会議司祭研修会）

於 三田関西地区大学セミナーハウス
9月1日～5日

報告　村上 透磨

司祭公聴会の訳だと聞いておりましたので、司教様方が司祭の意見をお聞きになる会かな、と思っていましたが、実際は司祭研修会又は学習会でした。

会は、大阪管区五教区（大阪、京都、名古屋、広島、四国）の司祭、130余名（京都からは24名）が一堂に会し、ニコラス師の有意義な講演を中心に行われた。

師の講演の目的は「福音宣教」の理解を深め、使徒職と福音宣教をどの様にすれば生かす事が出来るかについて示唆を与える事にあった。

その内容は、福音宣教の背景となる出来事、考え方をまず示す事。

アジアの教会、特に韓国の教会について。日本における具体的な方針をたてるためのいわば方法論。などを示唆された。

さて司祭公聴会と聞いて行ったため、基本方針が問いかけている、福音宣教や福音宣教共同体を司祭としてどう考え、どう反省し、どう取り組むかを話し合う場と期待して行った者には少し意外にも又物足りなく思われたかもしれない。しかしニコラス師の講演はとても学ぶべきところがあったと思う。

そして、それを補う意味でニコラス師の講演の中から七課題を申し合わせ事項として選んだ。

1 信徒司祭と共に宣教する教会の新しいイメージ作りをする。
2 弱い立場に置かれている「小さい人々」と共に歩む教会の態勢づくりをする。
3 日本の貧しさ、文化、宗教との出会いの中での創造的な日本の教会を目ざす。
4 司祭中心型宣教から信徒司祭と共に働く宣教共同体。
5 知的信仰から、体験を通しての信仰の深化をはかる。
6 日常生活の中に示される聖書のメッセージを信徒と共に分かち合う。
7 アジアの教会と共に歩みながら、日本の社会の福音化をめざす。

一つニコラス師のとても気になる言葉。

「司祭は信徒の事を心配しすぎる!!」どう思われますか。

時あらば講演内容を説明いたします。

ズンゲナラ枢機卿よりお礼の手紙

'84ウォーカソン（アフリカ）

京都教区の皆さんへ

ズンゲナラ枢機卿の25周年目にあたった年、またブルキナファソの大旱魃で大きな助けを必要としていた時、マリアの宣教者フランシスコ会のシスターを通して援助金をいただきました。

あまり信者の多くない日本、そして大変な活動をしておられる教理センターを知り感銘を受け、この機会をかりて私の感謝を表したいと思います。

いただきましたウォーカーソン募金はギリグーゼニアレという所にある修練院の中に80mの井戸掘りに使わせていただきました。今は溢れる水にうるおっています。

世界に働く聖霊の動きがこうした物質的な援助を通して共同体に効果的なしるしを見せています。

私、枢機卿は援助の手をさしのべて下さった日本の方々、京都教区のために祈るよう人々に伝えています。

共同体の交わりのうちにおいて主キリストにおいて感謝。

'86年7月18日　ズンゲナラ枢機卿

福音宣教　この一冊

紹介します

実り豊かな秋。福音を載せて、すばらしい本たちがあなたとの出会いを待っています。

私たちの心に、生活に、美しい響きを呼び起してくれる、私たちのとっておきの本をあなたにご紹介します。福音宣教の力強い助け手になるはずです。

神に聴くすべを知ってるなら

ミシェル・クオスト著
C・H・ブシャル・藤本治祥共訳

祈りが信仰生活の源であることを否定する人はいないだろう。そして福音宣教が「特別」なことでないのと同じように、祈りも「特別」なことではない。そのことをこの本はよくわからせてくれる。私たちの生きる場、もがき苦しみながらも生活している場の中にこそ、祈りも福音宣教もあるのでは。

（日本基督教団出版局　７８０円）

大原　正義

草津教会

マザー・テレサのことば

マザー・テレサ著・半田基子訳

この本は福音宣教の励ましでもあるし、時には私たちが見失ったり、勘ちがいしていることをわからせてくれる。

（女子パウロ会　３５０円）

岩波ブックレットのシリーズ　全67冊

私たちが「社会」の問題を知り、考えるための最適シリーズ。時報８月号の「平和行進のプラカードのことば」の中には、このシリーズが良い入門書になると思う項目が沢山あった。

（岩波書店　各200・250円）

東門陽二郎

河原町教会司祭

聖書

特に福音書、フランシスコ会訳が読み易い。

第二バチカン公会議公文書全集

南山大学監修

特に教会憲章・現代世界憲章・信徒使徒職に関する教令。通読しなくとも参考にすることができる。　（中央出版社　１８００円）

パウロ六世の使徒的勧告「福音宣教」

1974年の世界司教代表者会議の成果を教皇様がまとめたもの。日本司教団の基本方針の支えでもあり、今、教会が福音宣教をどう考えているかを知る為に必読の文献。

（中央協議会　４５０円）

愛と孤独　　マルチン・ブーバー著

神と人間関係の根本を扱ったもの。

（創文社）

福音宣教とつまづきの石　　ナイルズ著

アジアの古い宣教の世界と宣教の問題について。

（日本基督教団出版局　１４００円）

編集部より

推薦図書コーナー

生ける石・信徒神学　犬養道子著（南窓社　一六〇〇円）

聖書の天地　犬養道子著（一二〇〇円）

キリスト教のここが知りたい（九〇〇円）

今問われていること（九八〇円）

共に育てる信仰（七〇〇円）　佐々木博著（中央出版社）

教会と信徒　ペテロ・ネメシェギ著（京都カトリック教理センター　一三〇円）

私を解放するもの　井上新二著（女子パウロ会　九八〇円）

愛とパンと自由を　ソレンチナーメの農民による福音書　E・カルデナル著　伊藤紀久代訳（新教出版社　二〇〇〇円）

なぜ世界の半分が飢えるのか　スーザン・ジョージ著　小南祐一郎・谷口真理子訳（朝日新聞社　一九〇〇円）

解放の神学と日本　―宗教と政治の交差点から　ルーベン・アビト　山田経三　著（明石書店　一八〇〇円）

この秋　出会いたい

私の本棚から

なぜ自分を知らせることを恐れるのか？

ジョン・パウエル著・林義子訳

自分を知り、自分のありのままの姿を人に見せることは、とても難しいことです。だけど私はこの本を読み、自分を知ること、ありのままの姿で他に接することは、自分を変えることになる。そしてその力は自分の中にあることを知りました。　（女子パウロ会　８００円）

美しい人に　―愛はほほえみから―

渡辺和子著

美しさの３つの条件は、いつもにっこり笑うこと、自分の醜さを恥じないこと、人の身になって思うこと。本当の美しさは心の眼で見る時、見えて来ることを知りました。

（ＰＨＰ研究所　９８０円）

磯野真知子

河原町教会

霊的な出発

高橋たか子著

生ける水を掘り、そのオアシスへ渇く人々を招待できたら、と著者は念願される。そしてそれは誰かがするのではなく、神の働きによってなされる。その神の道具となりたい。と体験を通し変っていった自分自身を描かれたエッセイです。　（女子パウロ会　１０００円）

'86 平和への歩み

8月10日の集い　感想と報告

講演
戦争犠牲者に思いを馳せ心に刻む

上杉　聡氏（関西大講師　大阪正平協）

映画「侵略」

藤井　陽子

「目をそむけないで下さい」と前置きされた〝侵略〟の映画は、私たちが知らなかった（今だに知らされていない）日本の侵略戦争、南京大虐殺、中国への侵略を、写真と証言、記録によって、生々しく訴えかけてきた。そこには、人間の生命の尊厳も、人格の尊さも見当たらず、私の目に焼きついたものは、累累と横たわる幼児の死体と、にやりと得意気に笑っている日本軍人の写真であった。

上杉先生は8月15日に向けて準備されている「アジア・太平洋地域の戦争犠牲者に思いを馳せ、心に刻む集会」の経過、そして、その精神について話された。

「昨年の8月15日、中曽根首相は靖国神社に公式参拝を行なった。そして今年、首相の公式参拝は見送られた。なぜ、靖国公式参拝を問題にするのか疑問の方もいらっしゃるでしょう。

実は、中国民衆、例えば南京では30万人とも40万人とも言われる人たちを殺した日本軍人が祀られています。中国の戦地で民衆を殺し、焼き尽した人達の死を靖国神社は英霊として祀っているのです。英霊というのは、素晴しい事をやった人たちの霊のことです。そして昨年の公式参拝の意味は、その人たちの偉業を誉めたたえることにあるのです。

我々日本人は「広島」「長崎」と叫ぶのに、戦争中に殺した人達のことには無関心ではないでしょうか。あの戦争で、実にアジア全体2500万人にものぼる人が殺されました。我々はその苦しみの声を聞き過ごすことはできません。戦争の残した傷跡を凝視し、過ちを再び繰り返さないと心に刻まなければ……。

そして、今回、私たちは本当に死者の追悼を望むならばまずあの戦争によって殺されたアジアの国々の人たちを追悼するべきだと思います。そしてその中で私たちの親、祖父母、兄弟、親類の死者を追悼しようと8月15日の集会を計画しました。運動は宗教、国境を越えて広がっています。

私たちは単に平和を唱えるだけではいけません。戦争には必ず殺す相手がいます。戦争で死ぬことは殺されて死ぬことで、戦争に出ることは殺すために行くことなのです。もしかしたら戦争するかも知れない国の人々と友好を積み重ねてゆくことが、平和を築き上げてゆくことにつながるだろう。」と訴えられた。

映画の制作者、森正孝さんは、「この映画は過去を暴くために作られたのではない。過去の歴史がどのように見づらくとも、それを隠すのではなく、歴史の事実として直視し、学ぶことが、今を生き将来を生きるために不可欠だと思うからである。」と言われている。

戦争賛美へ着々と足並みがそろえさせられている現代、知らなかった、知りたくないで目をおおわず、愛すべき人間が殺し合う戦争の現実をすべての人に見て頂きたいと思った。

（西院教会）

平和行進（河原町教会～円山公園）

語って下さい

パン我

愛がふくらむ

糠みそってナーニ

糠みその会

永山幸博

他のものに味をつけ、そのものがもっている良いものを生みだすとても大切な役をしているのですネ！

そのように、私たちもいろいろな形で諸問題に取りくみ、苦労をしながら良いものを作りだしていきたいと思い、糠みその会に参加しました。

最初は糠みそそのものも分からなかったのですよネ。そんな私ではありましたが、いろいろな事柄を聞き、見て、話していくうちに私たち人間ひとりひとりが人間の幸福を考える時、避けて通れない事柄がこの社会にはあまりにも多すぎるのです。

すべての問題を解決はできないけれども、私たちができるだけの事を力を合わせてやって見ようと思います。そして私たちに好意をもって下さる方々がひとりでも多くおられたら、一緒に共同体として、いろいろ取りくんでほしいのです。

私たちがこれからやろうとしていることは、小さなことかも知れませんが、一つ一つの積みかさねの過程の中に、とても大きな意味があるように思います。

私たちといっしょに勉強してみませんか

「糠みその会」は私たちの回りにある身近な問題、例えば食品添加物、洗剤、水の問題や差別問題、または軍拡問題などを勉強しながら、キリスト者としての生き方を模索している小さなグループです。

この会をもっと知りたいと思われる方は、どんどん御連絡下さい。

連絡先

〒601 京都市南区吉祥院河原里南町8－1　永山幸博

☎075(321)6486

聖書週間

みことばを生活に生かそう

書道作品展

- 出品点数……1人2点まで
- 書体・大きさ…自由
- 〆切……10月31日(金)
- 会期……11月5日(水)～11月15日(土)

聖書朗読コンテスト

- 日時……11月9日(日) AM10時～12時
- 朗読箇所…参加者が随意に選ぶ(2分以内)
- 〆切……10月31日

詳細は、京都カトリック教理センターへ

〒606 京都市左京区仁王門通新高倉東入北門前町469

☎(075)752—0057・(075)761—9095

教えてサロモンさん!!

福音書って

マシア著「聖書を開いて」の第六章に「福音書から福音へ」と言う一章があります。

勿論福音書と福音は違いますよね。福音書とはマタイ・マルコ・ルカ・ヨハネの四つの書のこと。

福音は「喜ばしい告知」と言う意味があって、イエズスキリストについてのよい告知。イエズスキリストのよい告知。イエズスキリスト自身、を現わす言葉なのですね。

啓示憲章のn18で次の様に言っています。「…すべての聖書の中で、福音書が最も優れていることは周知の通りである。それは我々の救い主である託身のみことばの生涯と教えとに関するおもな証言だからである。教会は四福音書が使徒的起源を有するものであることを…今も断言する。実際、使徒たちがキリストの命令に従って述べたことを、後に使徒達とその回りの人達が聖霊の霊感によって、信仰の土台として、書いて我々に伝えた。それが…四福音書である。」

福音書はイエズスキリストに対する信仰告白の書でもあるのです。

お知らせ

教区スケジュール

10月
13～17日教区司祭黙想会
19日(日)西陣聖体行列
25～26日召命錬成会（奈良善きサマリア人会修道院）
30日　司祭評常任委員会

平和への歩み学習会
日時　10月12日(日)
　　PM2時～4時
テーマ
宗教と部落問題
講師　中川喜代子氏（奈良教育大教授）
場所　奈良カトリック教会

被差別部落問題連続学習会
津教会（正義と平和委員会）
日時　10月26日(日)AM9時のミサ後
テーマ
学校でどう教えているか
講師　津市教育委員会
　　同和教育室の先生方
場所　津教会

▼第23回召命錬成会

対象　青年男女（高3も含む）
日時　10月25日(土)～26日(日)
場所　善きサマリア人修道会
　　〒630奈良市法蓮町746
会費　3,000円
申込先　Srリディア菊池
　　〒606京都市左京区下鴨西高木町12
　　ノートルダム修道院
　　☎075(721)8964
〆切日　10月18日
主催　京都教区召命促進委員会

▼ノートルダム女学院奨学金
―創立者 マザーテレサ・ゲルハルディンガー奨学金

●応募資格
1京都教区のカトリック信者で来年度ノートルダム女学院高校で学ぶ人
2経済的事情のある人
●応募期限　11月20日
●問い合せ先
〒606京都市左京区鹿ケ谷桜谷町1
ノートルダム教育修道女会
☎075(761)8455

▼森一弘司教講演会
キリスト教の原点としての福音
―福音宣教とは何か―

日時　10月11日(土)PM1時30分～
場所　北浜カトリック教会6階
主催　カトリック大阪大司教区
共催　女子パウロ会

▼教会音楽研修会の御案内
典礼聖歌のあり方とその歌い方

日時　11月2日AM10時30分～PM5時
場所　〒602京都市上京区河原町通今出川下ル東入
　　聖ドミニコ学院京都幼稚園
講師　小田賢二氏（教会音楽家 国立音大）
詳細は京都教理センター
☎075(752)0057

共同体の祈りとしての教会音楽

日時　11月3日(月)　10時～5時
場所　大和八木カトリック教会
持ち物　教会の祈り、典礼聖歌集、弁当
締め切　10月31日（当日参加可能）
申込先　〒634橿原市八木町1―7―10　大和八木カトリック教会
　　仲川久代宛
講師　小田賢二氏（教会音楽家 国立音大）
両日とも参加料は有料です。
どうぞ皆さん御参加下さい。

帰天

ポール・ツーシェット神父
9月21日　63歳
永年にわたる日本での宣教の奉仕（京都教区・札幌教区）に感謝いたします。
（メリノール会・前彦根教会主任）

◆キリスト何処に居る。金持ちの家の中？それとも門外のラザロの中？家族的共同体。それは得てして家の中。門よ扉を開け。基本方針と優先課題、ビジョンより提言。（MT）
◆なかなか聖書が読めなかったのに、グループで聖書に親しむ機会ができたとたんに聖書が好きになりました。心を開いてみんなとわかち合ったおかげかな。（い）

投稿のお願い

▽御意見、疑問、信仰体験の分かちあい…▽子供の作文等▽三百字以内、たて書き。趣旨を変えない程度に直す場合もあります▽小教区お知らせはハガキでどうぞ▽掲載をもって採否の連絡にかえます。▽採用分には記念品進呈▽住所、氏名、年令、職業、☎、所属教会を明記の上、〒606京都市左京区仁王門通り新高倉東入ル　京都カトリック教理センター「教区時報編集部」宛お送り下さい。